

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 386

所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当者名	松本 清臣
事業名	担い手育成事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	農業法人等規模拡大支援事業			政策体系	233
会計	一般会計	科目	6.農林 - 1.農業 - 3.農業		

## 1. 事業の概要

米、麦、大豆の農作業受託をしている任意組織又は農業法人で、品目横断的経営安定対策加入に向けて取り組み、地域農業全体の調整を行っている組織に対し、経営強化・農業機械導入への支援を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

管内の集落営農組織に対し、農地の集積に対する助成もしくは水稲栽培に必要な機械の導入補助を行うことにより、集落営農組織の経営基盤の強化及び南丹ブランドの中核である米の作付拡大に寄与する。

### ②事業を実施する必要性

本市においては、大規模な個別農家は数少ないが、一方で集落営農組織が多く存在している。これら集落営農組織が地域の農地を守っているのが現状であり、これら集落営農組織の支援により、農地保全を図るとともに、組織の経営基盤の強化により、経営の改善、安定化への寄与は大きい。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	0	18,448	8,856	2,466	0	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	1,779	8,680	7,223	1,897	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	-1,779	9,768	1,633	569	0	0	0
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.30	0.05			
人件費		千円	—	—	1,496	254			
事業費総額		千円	—	—	10,352	2,720			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

農業機械導入補助金（2組織）	2,466,000円
----------------	------------

## 5. 事業結果の概要

田植機1台(熊崎農家組合営農部)  
トラクター1台(曾我谷営農組合)

3年間の期限付き緊急対策事業であったが、事業取組8組織のうち、7組織が水田経営所得安定対策(品目横断的経営安定対策)に加入し、また2組織が法人化を達成した。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 補助金交付		
●機械導入補助 水稻生産に係る作業受託を行う集落営農組織に対し、作業受託に必要となる機械の導入に係る補助を実施 平成18年又は19年度の事業採択から3年間事業が実施できる時限事業であり、集落営農組織の経営基盤の強化を図った。	7月10日～3月31日	熊崎農家組合営農部会 田植機 1台 1,074千円 曾我谷営農組合 トラクター 1台 1,392千円

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

担い手農家不足の解消と集落営農支援策として事業展開を図ってきた。本制度は平成21年度をもって終了する。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
集落営農の法人化のメリット
- ②当該事業のアピール事項  
集落営農支援策として重要
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
総合的な農地保全対策の必要性